



西会津中学校 学校だより

令和4年10月31日発行  
11月号 No.8  
発行者 校長 佐藤 崇史

# 雄飛

【教育目標】  
未来の可能性を創造していく生徒

自主

自律

敬愛

健康

## 学びを楽しむことで発揮される力～光桐祭の生徒の輝きより～

10月22日(土)には、第21回目の「光桐祭」を大成功のうちに終わることができました。生徒たち一人一人の笑顔とその生き生きとした姿に、自ら取り組み、楽しむことの素晴らしさを感じずにはられません。今年度のテーマは「真っ白な1ページを自分色に染めよう～笑顔と輝きにあふれた史上最高の光桐祭に!～」でした。当日の校長挨拶では「自分色に染める」ということは、「自分から」「自分が」やらなくてはならないことを話しました。そして、笑顔と輝きにあふれる光桐祭になるために、周りの人のことを考えて一日を過ごすことを願っていると伝えました。

そんな私の願い通り、当日の西中生の姿からは、一人一人が楽しんでいることが伝わってきました。自分からやろうとすることは、楽しいものであることを子どもたちは身をもって表現してくれました。生徒たちの笑顔と輝きに満ちた姿に、学校はこうでなくてはと思われました。

1年生の合唱は、本当に1年生らしい一生懸命な歌でした。劇も見ていた私たちの心を優しくする、心温まるものでした。2年生の合唱は、声の良さ、音楽を感じる表現がとても良かったです。劇もいろいろ考えさせられる内容であり、本格的でした。3年生に迫るレベルの高い発表でした。3年生の合唱は、豊かな男声の音量に支えられ、とても響きのある合唱でした。劇も楽しませる部分が多く、何より3年生が楽しんでいることが伝わってきましたし、最上級生としての発表をするんだという気概を感じました。しっかりやった、やりきったという表情が印象的な素晴らしい発表でした。

やはり、自分たちで考えて、自分たちでやろうと決めることが大事なのだと改めて思います。そして、それが「探究する」ということです。

これからの時代には「探究する力」を身につけることが求められています。多様な人たちと共存をしていくこれからの社会は、一人一人の多様な幸せ(Well-being)が求められる社会です。そのような社会では、唯一の「正解」があるわけではありません。多様な考えと折り合いをつけながら、「納得解」を作っていく必要があります。だから、「教えてもらう学び」ではなく、自ら学びを調整し、試行錯誤しながら、自ら課題を設定し課題に立ち向かう「探究する力」が大切になってくるのです。もう少し簡単に言うと「自分なりの問いを立て、自分なりの仕方、自分なりの答えにたどりつく」ことが「探究する力」といえると思います。そして、その力を付けるには、「教えてもらうのではなく、自分で学ぶ、発見する」という認識を身につけさせる必要があります。光桐祭での取り組みは、まさに「教えてもらうのではなく、自分で」やろうとする取り組みです。やらされている生徒がいないから、みんなの笑顔が輝いているのです。自分たちなりに考え、自分たちなりのやり方で、自分たちなりの答えを表現することができていたから、今年度の光桐祭も素晴らしかったのです。生徒たちの姿を見ながら、これからも「自分が」考えて、「自分から」学んでいき、学びを楽しむ生徒たちになってほしいと思いました。

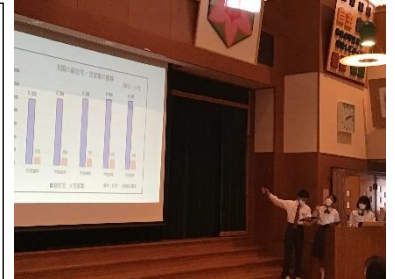
終わりに、コロナ禍の中、光桐祭を無事に開催できたことを本当にうれしく思います。開催にあたり、ご協力いただいた保護者の皆様に心から感謝申し上げます。





## 2 学年アントレプレナーシップ学習発表 ～西会津中の探究学習～

探究する力という意味では、アントレプレナーシップ教育もまさに、探究する力をつける学習です。2年生は「西会津町のワクワクする未来のアイデア」について、自ら課題を設定し、約半年間課題に立ち向かいました。先日行われた発表では、どの班も具体的にいろいろと考えた、すばらしい発表を行いました。来年度は、課題を解決するために、アイデアのレベルから実現に向けて「探究」のレベルを上げて、動いていくことになります。まさに試行錯誤しながら、自ら課題を設定し課題に立ち向かう探究学習であり、西会津中学校の大きな特色ある学習です。



## 全会津新人大会での活躍 ～県大会で自分史上最高のプレーを～

10月に各種目で全会津の新人大会が行われました。バレーボール部が優勝、卓球部女子が団体2位、剣道部が団体3位とどの部も素晴らしい活躍です。光桐祭前で練習時間があまりとれない中でのこの結果は、部活動の練習だけではなく、それぞれに努力してきたことを感じさせます。11月は、それぞれの県大会が実施されます。一人一人課題を持って練習に取り組み、自己最高のプレーをしてきてほしいと思います。やはり、部活動でも課題を自分で設定し、その解決に向けて努力することが大事なことです。



## 引き渡し訓練を実施 ～万が一に備えることの必要性～

10月26日には、保小中合同の引き渡し訓練を実施しました。災害が起きたとき、保護者の方に無事にお子さんを引き渡すことができるようにするための訓練ということで、ご協力いただき感謝申し上げます。私は、東日本大震災の際、勤め先から自宅まで車で通常1時間のところを4時間以上かかり、連絡もとれず、家族と会えるかわからない強い不安に襲われました。災害はいつ起きるかわからず、私たちの想定を越えることもあります。万が一に備えるための訓練であるのご理解いただければ幸いです。

中学生は小学生の弟、妹の面倒を見ながらお迎えを待っていました。避難訓練という意味合いだけでなく、中学生が年下の子たちに指示を出したり、一緒に行動したりするという意味でも大切な時間だと感じました。



## 11月の予定

- |                            |                          |
|----------------------------|--------------------------|
| 1日(火) 学校へ行こう週間 ファミリー学級     | 12日(土) 県新人バレーボール大会(～13日) |
| 2日(水) 校内駅伝大会               | 14日(月) 3年先輩に聞く講話         |
| 3日(木) 文化の日                 | 17日(木) 3年アントレプレナーシップ発表会  |
| 4日(金) AI時代を生き抜く読解力向上事業研究公開 | 20日(日) ふくしま駅伝            |
| 5日(土) 県新人剣道大会              | 21日(月) 全学年三者相談・学習会(～29日) |
| 7日(月) 高等学校説明会              | 23日(水) 勤労感謝の日 県新人卓球大会    |
| 10日(木) 卒業証書と紙づくり(～11日)     | 30日(水) パワーアップテスト         |